

どい 土肥こうすけ

後援会ニュース 2023年 春 (第31号)



発行:土肥こうすけ後援会 発行責任者:出原 逸三 編集責任者:三田 哲治
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153

◇ TOPIX ◇

- ①定例会報告抜粋(草津グリーンスタジアム改修、草津川跡地【区間6】の土地を滋賀県から草津市が取得)
- ②一般質問(市職員の定年年齢引き上げについて、草津川跡地【区間6】の整備について)

令和4年11月定例会 主な議案について報告します

草津グリーンスタジアム人工芝改修工事の契約締結

◇健幸都市くさつに向けて前進◇

草津グリーンスタジアム改修工事の契約締結について議決いたしました。工事期間は令和4年12月19日から令和5年7月31日までを予定しています。

執行部からは、2025年に開催する国民スポーツ大会に向けて、約2億円をかけて主に外野ゾーン的人工芝を張り替えるという工事内容であるとの提案説明がありました。



現在の草津グリーンスタジアムの人工芝は、平成12年に供用を開始して以来23年間一度も張り替えることがなかったため、経年劣化で硬いマットのような質感になっており、滑りやすく危険な状態になっています。加えて、足が引かかるような損傷箇所もあり、プレー中につまづいて転倒するおそれもあるという不安の声を以前から頂いておりました。

議決するにあたっては、国民スポーツ大会に向けた改修というよりも、スポーツにいそしむ市民が安心してプレー出来る環境を整える上で必要であり、また、一般的に人工芝の耐用年数は10年程度とされていることから、今回の改修は早急に進めるべきと判断し、この議案について賛成いたしました。

草津川跡地【区間6】の土地を滋賀県から取得

◇de愛ひろば以来の本格的な草津川跡地整備が始まる◇

令和5年度から整備工事が予定されている草津川跡地【区間6】の土地を、草津市が滋賀県から取得することが決まりました。土地面積は28,833㎡と広大で、取得価格は約3.5億円(約4万円/坪)です。

近隣の地価相場と比較しても約1/10程度の安価で取得できる上に、草津市の付加価値向上につながる公園整備に向けて必要な手続きでもあることから、賛成いたしました。



◇市職員の定年年齢引き上げについて

地方公務員法の一部改正に伴い、市職員の定年年齢が段階的に引き上げられる主旨の条例改正案が提出されました。現行の60歳定年から段階的に引き上げられ、2033年度には65歳定年となります。

民間企業が定年年齢引き上げについて慎重に労使で議論を重ねている中、今回の条例改正により公務員の定年延長が先駆けて実施されることとなります。今後の民間における労使協議に何らかの影響があるかもしれません。

また、処遇面や働き方の納得性によっては職員のモチベーション低下が懸念され、ひいては行政サービスの質の低下につながる恐れもあります。これら2つの観点から条例改正案について質問いたしました。主な質疑は以下の通りです。



市職員もまた生活者であることから、65歳まで働くことができることについては、近年の晩婚化や年金受給年齢の引き上げ等の環境変化に対応した条例改正として評価しています。

しかし、60歳を迎えた後の処遇や働き方、求められる役割によっては、モチベーションの低下が懸念されます。このことについて所見を伺います。

仰る通り、モチベーションの低下については懸念されるのですが、働き方の面では短時間勤務を選択できたり、能力や働きに見合った評価制度を設けるなど、高齢期の働き方の幅を広げることで各職員のライフプランに合った働き方が出来ると考えており、モチベーションの維持・向上につながると思っています。



約10年間をかけて段階的に定年年齢を引き上げていく制度変更であることから、市職員の心理的猶予を考慮すると、大きな混乱はないものと予測します。しかし、処遇面や働き方等の変化によるモチベーション低下は行政サービスの質に直結するので、ひきつづき変化を注視してまいります。

◇草津川跡地【区間6】の整備について

令和5年度より施工される草津川跡地【区間6】(国道1号線～新幹線)の整備にあたっては、過去から市が近隣町内の代表者を集めた懇話会を複数回開催しています。その中で、主に跡地に隣接する住民の意見を受け止め、設計に反映してきた経緯があります。

ところが、令和4年10月に市が開催した住民説明会においては異論が噴出し、十分に合意形成に至っていないことが露見されました。とりわけ、公園内を通る新設道路については安全面や渋滞の悪化について懸念する声が多数ありました。このことについてどう受け止め、どう対処していくのか市のスタンスを問い質しました。



まだまだ日本社会には不慣れなラウンドアバウト方式の交差点を設けることで、事故が増える心配はないのでしょうか。また、ラウンドアバウト方式は交通量の多い交差点には不向き。朝夕の通勤渋滞が悪化しないか心配する声もありました。

地域住民の不安を払しょくする答弁を求めます。

説明会の中で、特にラウンドアバウト方式の交差点について心配の声が多くありましたので、これから広報に努め、わかりやすい現場での表示など、他の事例を参考にしながら住民の皆様の不安が解消されるよう努力してまいります。

また、県内にはラウンドアバウト方式の交差点が6箇所あり、いずれも人身事故は発生しておらず、広報も十分に尽くしてまいりますので、大丈夫と考えております。



住民の不安に対して「大丈夫」という答弁を引き出すことはできましたが、だからといって安心できるものではありません。責任ある答弁をした以上、市がどのようなアクションを起こして住民の不安を解消するのかチェックし、よりよい跡地整備となるよう努めてまいります。

統一地方選挙における国民民主党の推薦について

先般、国民民主党滋賀県総支部連合会(以下、滋賀県連)に対し、山本正氏から次期統一地方選挙における推薦依頼の申し入れがありました。これを受け、滋賀県連として協議を重ねた結果、同氏の申し入れ内容を承認し、推薦することを決定いたしましたので報告いたします。

